

CSM の FAQ

目次

- [概要](#)
- [質問](#)

[CSMのコアダンプファイルはどのようにして取得しますか。parse-lengthの初期値が変更されています。supervisorのbootflashからCSMをupgradeするにはどうすればいいでしょうか。](#)

- [関連情報](#)

概要

CSMに関するよく訊かれる質問とそれに対する回答をまとめました。

注：ドキュメント表記に関する詳細情報は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

質問

Q: CSMのコアダンプファイルはどのようにして取得しますか。

A: CSMが予期しないリロード等と共にコアダンプファイルを生成する場合があります。コアダンプファイルは `show module # tech-support all` コマンドでも一部確認が可能ですが、コアダンプファイルの解析のためにはコアダンプファイル自体が必要となります。

事前準備：

CSMからコアダンプファイルを取得するためにはTFTPサーバが必要となります。このTFTPサーバはTFTP経由で書き込みできる必要があります。

このTFTPサーバをCSMから到達可能なネットワークに設置します。CSMから到達可能かは次のコマンドで確認します。

TFTPサーバへの到達性確認

```
Router#ping module csm [slot#] [tftp server IP address]
```

コアダンプの取得

```
Router# session slot [slot#] processor 0
```

```
CSM> tftp core_dump [tftp server IP address] [file name]
```

```
CSM> exit
```

[Return to Top](#)

Q: parse-lengthの初期値が変更されています。

A: vserverにparse-lengthの設定を入れることが出来ますが、CSM version 3.1以降では初期値が600バイトから2,000バイトへ変更になりました。この2,000バイトはHTTPヘッダー全体の長さの指定となります。4.2(3)未満のCSMイメージではparse-length以上のHTTPヘッダーを有するパケットを受信した場合にはRSTが送信されます。4.2(3)以降ではHTTPヘッダーがparse-lengthを超過した場合、デフォルトポリシーにて処理するように指定することが出来るようになりました。

[Return to Top](#)

Q: supervisorのbootflashからCSMをupgradeするにはどうすればいいでしょうか。

A: SUP1 / 2 の bootflash から CSM をアップグレードする場合、下記のように IP address の最後のオクテットは10の位にスロット番号を、1の位に2を使用します。

アップグレード (SUP1/2)

```
CSM > upgrade 127.0.0.12 c6slb-apc.2-1-0.bin
```

http://www.cisco.com/en/US/partner/products/hw/modules/ps2706/products_tech_note09186a0080094526.shtml#first

これに対して SUP720の bootflash から CSM をアップグレードする場合、10の位にはスロット番号を、1の位には1を使用するように変更されております。bootflash 以外からのアップグレードに関する方法は変更はありません。

アップグレード (SUP720)

```
CSM > upgrade 127.0.0.51 c6slb-apc.2-1-0.bin
```

[Return to Top](#)

関連情報

• [テクニカルサポートとドキュメント : シスコシステムズ](#)
Updated: Apr 27, 2007

Document ID:805042007

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。